概要版

横浜市中期計画2026～2029（素案）

横浜市をもっとよくするために、みなさんの意見を集めています

～未来の横浜をみなさんといっしょにつくる～

横浜市中期計画2026～2029とは？

横浜市をもっとよくするために2026年4月から2030年3月までに進める計画です。

この計画の素案（最初のおおまかな考え）がまとまりました。横浜市に住む人の意見を聞く市政を基本にして、今の課題を解決しながら、魅力ある横浜の未来をつくっていきます。

計画の組みたて

いっしょにめざす都市のかたち「明日をひらく都市」を実現するための戦略

×

戦略

みんなの生活の安心・安全

横浜にはたくさんの人が住んでいます。みんなが安心して生活することができる「住みたいまち・住み続けたいまち」をつくります

×

これからもずっとよくなり続ける横浜

横浜市が今よりももっとよくなるようにいろいろなことをします。みんなが希望を持って住むことができ、世界中の人がよいと思えるまちをめざします

総合的な取組（横浜市がすること）	**14の政策と政策を行うために横浜市がする33のこと** （14の政策は、横浜市がすることをまとめたものです）
いろいろな政策をあわせて、いっしょに進める取組	テーマにあわせて計画をします 横浜をもっとよくするための**「明日をひらく都市プロジェクト」**

政策（横浜市がすること）・財政（横浜市のお金の使い方）・行政（横浜市役所の仕事）をうまくつなげて、横浜市がよくなるように計画を進めます

横浜市役所の仕事のしかた

横浜市役所の仕事のしかたを変えて、住んでいる人たちといっしょによいまちをつくります

横浜市のお金の使い方

横浜市のお金の使い方をよく考えます。無駄使いをなくして、みんなの役に立つようにお金を使います

総合的な取組　14の政策と政策を行うために横浜市がする33のこと

政策	めざす姿	横浜市がすること
1 毎日の安心・安全	●防犯対策がしっかりして、地域の防犯力が高まり、犯罪が少なくなって、だれでも安心して暮らせる環境になっています。 ●交通安全対策が進み、こどもから大人まで安心して出かけられる環境になっています。 ●古くなった設備を計画的で効果的に対策・保全・取り替えをして、みなさんの生活に必要なインフラ施設をだれでも安心して使える環境になっています。	施策群1 防犯、歩行者の安心・安全 施策群2 インフラ施設が安全になっている
2 防災・減災	●地震防災戦略をもとにして、自助（自分たちで自分たちをまもる）・共助（地域で助けあう）・公助（国や自治体が助ける）の取組が進み、大きな地震に対する備えができています。 ●風水害のリスクに対し、ハード・ソフト両方の対策が進み、みなさんの命と財産をまもる備えができています。	施策群3 地震防災対策 施策群4 風水害対策
3 医療・保健	●資源をじょうずに使って、ぴったりの医療ができる体制ができています。こどもからお年寄りまで、だれでもぴったりな医療をうけられ、病気の人・家族が安心して生活することができています。 ●いろいろな種類のがん検診をうける人がふえて、早く発見して早く治療することができるようになっています。がんになった人が、ぴったりな医療をうけ、安心して生活できる環境になっています。 ●救急のお願いがふえても安定した救急体制ができています。 ●みなさんの生活習慣がよくなって、病気の予防、健康にいい行動がとりやすい環境ができて、みなさんが元気な生活を送ることができています。	施策群5 医療・救急・保健
4 こども・子育て	●すべてのこどもを社会全体で支えることで、未来をつくるこどもひとりひとりが自分のよさや可能性を発揮できます。ゆたかでしあわせな生きかたを切りひらく力、いっしょにあたたかい社会をつくり出していく力が育てられています。 ●こどもたちが、いろいろな遊びや学びにふれることで、自分のよさをしっかり感じられる環境ができています。 ●だれでも安心して赤ちゃんを産んだり、こどもを育てたりすることができ、気持ちに余裕をもってこどもにむき合うことができています。	施策群6 子育て支援 施策群7 保育・幼児教育 施策群8 こどもの体験機会と居場所づくり 施策群9 難しい状況にあるこども・家庭への支援
5 教育	●中学校全員給食で食育を進めたり、学校の古くなった施設をきれいにして、みんなが安心して学べる環境がととのって、もっといい教育環境につながっています。 ●グローバルに活躍する児童生徒を育てるために、プログラムの充実・支援のしくみがととのって、こどもたちの能力や意欲を高めています。 ●ICTを使う指導力をはじめ、先生たちが自分から学び続けることで、指導力が高くなって、児童生徒を成長させられるようになっています。	施策群10 教育環境の整備（ソフト・ハード） 施策群11 安心して生活できる学びの環境づくり 施策群12 学力の向上 施策群13 教職員

政策	めざす姿	横浜市がすること
6 高齢・長寿	●お年寄りの活躍・社会参加の機会がたくさんあり、ひとりひとりが生きがいや役割を持って、つながり・支えあう地域づくりを進めます。 ●見まもりの取組や地域での支えあいを進めて、住みなれた地域で自分の思うように自分らしく暮らすことができています。 ●新しく介護をしてくれる人が入ってくること、その人がずっと介護をしてくれるように応援して人材を確保します。デジタル技術を使って仕事のしかたをよくするなど、働きかた改革をして、ずっと介護サービスができています。 ●必要な施設・住むところの整備、相談ができて、日常生活に支援が必要になっても、ひとりひとりに合ったサービスが選べるようになっています。	施策群14 高齢者支援
7 障がいがある人	●障がいがある人やその家族を支援して、ソフト・ハードの両方でみんないっしょに助け合いながら過ごせるまちづくりを進めて、だれでも安心して暮らせる環境ができています。 ●デジタル技術などを使って、体験する機会・働く機会がひろがり、自分らしく、いきいきと生活ができています。	施策群15 障がいがある人への支援
8 暮らし・コミュニティ	●地域でおたがいを支えあい、だれでも自分らしく活躍できている暮らしやすいまちになっています。 ●地域コミュニティが中心になって取り組む地域の課題（防犯・防災や環境保全、子育て支援など）の解決をめざして活動が続いています。また、自治会町内会など地域で活動する団体や人々、企業、学校など、みんなが協力する「協働による地域づくり」がさらに進められています。 ●快適な環境の中で、だれでもひとりひとりのライフスタイルに合ったゆたかな暮らしを実感しながら、安心して住み続けることができています。	施策群16 地域の生活環境 施策群17 学び・交流を支える地域の情報拠点 施策群18 いろいろな文化をもつ人たちがいっしょに暮らす 施策群19 むずかしい状況にいる人の支援
9 交通	●市の全体で地域公共交通がしっかりしていて、自転車・歩行者が快適に移動できる空間がまもられ、だれでもいきいきと安心して暮らせるまちを実現しています。 ●まちづくりといっしょとなった交通ネットワークがつくられ、渋滞対策が進められて、移動が便利になり、みなさんの生活がいきいきし、企業の活動がさかんになっています。	施策群20 市民の移動手段の確保
10 にぎわい・スポーツ・文化	●海に近いところに楽しい施設がある魅力を生かして、国内からも外国からも観光客がふえます。観光客がお金を使うことで地域経済が元気になり、活力・魅力のあるまちとなっています。 ●年齢も性別も、障がいがあってもなくても、どんな家庭環境でも関係なく、市内のどの地域でも変わりなく、だれでもスポーツや文化活動に参加できて楽しめる環境があります。また、それらを通じておたがいを認め、支えあうコミュニティができることで、生活がよくなっていることをみんなが実感できています。	施策群21 観光・MICE 施策群22 スポーツ 施策群23 文化芸術

政策	めざす姿	横浜市がすること
11 産業	●企業を横浜によぶ工夫をして、市内に産業や機能を集めます。成長しそうな分野から新しい雇用がふえて、仕事をする機会がひろがり、市の経済の発展が続いています。 ●新しく企業ができて成長していくことで、そこで働く人がふえ、また市内の企業との協力も進んで、市の経済がもっと元気になっています。 ●小さい企業、中ぐらいの企業の経営の土台がしっかりして、仕事を続け、社員をやとい続けることができるようになり、それが横浜経済を元気にし、成長をうながしています。 ●世界中にものを運ぶしくみを支える国際的に重要な航路を維持・拡大し、横浜港の国際競争力を強くします。同時に企業を集め、物流拠点づくりを進めて、地域を元気にするための拠点ができています。	施策群24 経済成長 施策群25 地域産業
12 まちづくり	●都心部（市の中心）・臨海部（海に近い地域）では、世界にじまんできる水際線などの魅力がさらに大きくなります。また土地を使うルールを変えて、都心臨海部（海に近いまちの中心）や新横浜の近くの中心に仕事をする場所と買い物ができる場所をまとめて、京浜臨海部（横浜と東京のあいだの海にそった地域）の産業が大きくレベルアップして、多くの人や企業をひきつけるまちになっています。 ●郊外部（市の中心からはなれたところ）では、鉄道駅のまわりや住宅地などで、地域の特色や資源を生かした魅力的なまちづくりが進められています。また、上瀬谷地区では、GREEN×EXPO 2027が終わったあとのまちづくりが進められています。	施策群26 都心部・臨海部のまちづくり 施策群27 郊外部のまちづくり
13 環境との共生	●脱炭素に関係するいろいろな施策で、みんなが環境を大切にする気持ちが強くなって脱炭素の取組が進み、温室効果ガスの出る量が半分になっています。 ●GREEN×EXPO　2027の取組で、自然の力を使って問題を解決したり、ゴミを出さないようにしたりする考え方がひろまり、みんなの行動が変わって、新しいグリーン社会をつくるための環境行動がひろがっています。 ●横浜らしいゴミを出さないようにすることが進められて、環境への影響を考えて行動する市民がふえています。また市内の産業の発展・育成にもつながっています。アジアを代表するグリーンシティとして、世界の環境政策、都市政策をリードしています。	施策群28 カーボンニュートラル 施策群29 GREEN×EXPO 2027 施策群30 循環型社会にむけた取組
14 みどり	●「公園のまちヨコハマ」を進め、動物園のリニューアルで魅力を高めて、こどもを中心にいろいろな体験ができるところをつって、都市ブランド力の向上につながっています。 ●身近に農業を感じる機会がふえて、ゆたかでうるおいがあるみんなの暮らしが実現しています。また、循環肥料を市内の農地で使って、都市と農地が近い横浜市の特徴を生かした取組が進められています。 ●空気や水、土壌などの生活環境を大切にしながら、木がはえているところ、川、海などの自然環境もまもります。まちの中でもどんどんみどりがつくり出され、水辺やみどりをみんなが身近に感じています。	施策群31 公園・動物園 施策群32 都市農業 施策群33 みどりをまもり、つくる

「横浜市中期計画2026～2029（素案）」の詳しいことはホームページを見てください

横浜市中期計画2026～2029　素案

いろいろな政策をあわせて、いっしょに進める取組　明日をひらく都市プロジェクト

横浜のポテンシャルや魅力を高め、横浜をさらに持続的に成長・発展させるためのテーマについて、「明日をひらく都市プロジェクト」として、3つのテーマでいくつもの施策を横につなげて取り組みます。

「明日をひらく都市プロジェクト」は、計画期間である4年後のめざす姿はもちろんのこと、2040年の横浜の姿も目標として、市民や企業の活力をどんどんひき出し、国などと協力しながら、戦略的に取り組んでいきます。

1	ものや資源を長く使い続けるまち	生産・消費・再資源化のあらゆるステージで循環型都市をめざす「YOKOHAMA CIRCULAR LINK※」
2	旅行で来る人を増やす・経済をよくする	にぎわいが経済を育て、世界とつながる横浜にする
3	未来を考えたまちをつくる	みんなの暮らしをよくして、経済を成長させ、活力あふれる横浜にする

※横浜の都市の特性を生かした、「食・農」「建築・住宅」「資源調達」「企業活動」「消費・行動変容」「DX」の6つの分野で中心的な取組をリンクさせて、循環型都市にむかう大きな流れをつくり出すもの

新しい中期計画ができるまでの予定

2025年9月

「新たな中期計画の基本的方向」を発表

↓

みなさんの意見を集めました

2025年12月

「横浜市中期計画2026～2029（素案）」をつくりました

↓

素案を読んだみなさんの意見を聞きます

2026年5月頃

原案をつくります　※原案をもとにして議案を出す予定です。

切り取り線

あてはまるところに☑を入れて、意見を書いてください。（いくつ選んでもOK）

※どれにあてはまるかわからない場合は、その他に☑してください。

巻頭

☐ いっしょにめざす都市のかたち「明日をひらく都市」

Ⅰ章 「横浜市中期計画2026～2029」の策定

☐ 計画の考え方　☐ 計画の推進にあたって

Ⅱ章 基本姿勢

☐ データ経営の徹底　☐ SDGs実現の視点

Ⅲ章 計画の全体像

☐ 戦略　☐ 計画体系　☐ データ駆動型経営への本格移行

Ⅳ章 政策・施策

☐ 14の政策と政策を行うために横浜市がする33のこと　☐ 明日をひらく都市プロジェクト

Ⅴ章 行財政運営

☐ 横浜市役所の仕事のしかた　☐ 横浜市のお金の使い方

Ⅵ章～Ⅷ章

☐ 大都市制度　☐ 計画の前提　☐ 計画の策定経過

（☐ その他：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

あなたの意見

「横浜市中期計画2026～2029（素案）」のパブリックコメントについて

意見を集める期間

2026年1月5日（月よう）から2月27日（金よう）まで

意見の出し方

インターネット	**右のQRコード**（横浜市電子申請・届出システム）にアクセスして、意見を書いてください。 ※1月5日（月よう）からインターネットを使って意見を出すことができます。
はがき	**このリーフレットのはがき**を切り取って、郵便で出してください。 （切手はいりません。2月27日までの消印（郵便局がおすハンコ）がついているハガキを受け付けます。）
Eメール	ss-chuki2026@city.yokohama.lg.jp
FAX	045-663-4613

※Eメール、FAXで意見を出す場合は、「横浜市中期計画2026～2029（素案）」についての意見ということがわかるように書いてください。このリーフレットの中のはがきに書いてある質問の答えを書いて出してください。

料金受取人払郵便

みほん

差出有効期限
令和8年
2月27日まで
（切手不要）

郵　便　は　が　き

2 3 1-8 7 9 0

005

（受取人）
横浜市中区本町6-50-10
横浜市政策経営局 経営戦略課 行

切り取り線

●あてはまるところに☑をつけてください。

■住んでいるところ
□横浜市＿＿＿＿＿区（区の名前を書いてください）
□横浜市ではないところ

■あなたの年齢は？
□～17歳　□18～19歳　□20歳から29歳
□30歳から39歳　□40歳から49歳　□50歳から59歳
□60歳から69歳　□70歳から79歳　□80歳～

- あなたの意見は、横浜市の考え方といっしょに、ウェブページに公表します。個人情報は公表しません。他の人に不利益になることなどは、公表しないことがあります。
- 電話や市役所に来て意見を出すことはできません。届いた意見に返事はしません。
- 意見を出すときに集まったメールアドレス、FAX番号などの個人情報は「個人情報の保護に関する法律」などをもとに、しっかり管理し、この素案に対する意見を集める業務だけに使います。

OPEN YOKOHAMA 横浜市

横浜市政策経営局経営戦略課
TEL：045-671-2010
FAX：045-663-4613

2025年12月作成